

# 音楽学部

音楽文化創造学科教授 堀田 秀雄

## 1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
ピアノの為の組曲 「音の回廊」  第3番：Andante  第4番：Allegro 第5番：Largo 第6番：Vivace	2010. 8. 22 作曲 初演発表	名称：可見市音楽家協会 第6回演奏会「サマーコンサート」  会場：可見市文化創造センター「虹のホール」  主催：可見市音楽家協会 後援：可見市教育委員会	ピアノ演奏：山下 勝  作品概要：ピアノ独奏曲として作曲を行ない、1番2番に引き続き、今回3番、4番、5番、6番の4曲を作曲・初演を行った。

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項	
授業科目 作曲の世界（1年次開講） ◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要		教材・資料等の概要
バロック音楽・古典派・ロマン派・印象派・現代音楽等、各々の総譜を見るときにも、代表作品を聴かせ、その作曲手法等の研究を行った。		現代の音楽作品として、担当者（堀田）の作品を教材として一部使用した。
授業科目 和声学Ⅰ（1年次開講） ◆前期 ◆後期		
工夫の概要		教材・資料等の概要
少人数クラスによる授業体制により、学生1人ずつ課題添削を実施し、その課題はバス課題およびソプラノ課題を実施している。		課題実習の教材として、担当者（堀田）および武野晴久共著の「和声学」を使用している。
授業科目 作曲法研究Ⅰ（1年次開講） ◆前期 ◆後期		
工夫の概要		教材・資料等の概要
形式および楽器について研究するとともに、室内楽作品を作曲させる事とした。		室内楽作品の作曲例として、担当者（堀田）の作品を一部教材とした。

授業科目 作曲実習Ⅱ (4 年次開講)	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
管弦楽法の研究および現代音楽の作曲法の研究を行う。	現代音楽の作曲の一例として担当者(堀田)の管弦楽作品を、一部教材として扱った。

### 3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本音楽芸術マネジメント学会	2010. 4 ~ 2011. 3	理事
可児市音楽家協会	2010. 4 ~ 2011. 3	可児市音楽家協会会長として、協会運営及び演奏会開催